



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.71
2016年 6月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

レモングラス定植開始

皆さんこんにちは。6月からカンボジアは雨季に入りました。連日雨が降り続き、ため池や川の水もだいぶ増えてきました。周りの農家さんたちも稲を植える準備に大忙しです。SAJ Farmも雨季にあわせてレモングラスの定植を開始しました。今回はレモングラスの定植の様子と、農場に来場された2つのツアーの様子、地元農家さんとの契約栽培についてご報告したいと思います。



SAJ 主催のツアーの様子



支援者の方々がレモングラスを定植中

◇ツアーのお客様来場

今回は SAJ 主催のツアーが開催されました。また、それとは別に支援者や孤児院の里親様もツアーを組んでカンボジアにこられました。SAJ 主催のツアーでは 7 人のお客様と渡邊代表理事が来場され、時間は 30 分ほどでしたが蒸留棟やビニールハウスなどの施設、レモングラス畑を案内させていただきました。今回初めてご家族連れで訪問された方がおられ、カンボジアの広大な景色にただただ感嘆されていました。農業をされている方もおられレモングラスの収穫期間や、収穫頻度について質問される方もおられました。

次に SAJ 主催のツアーについてです。今回は農場長がプノンペンから同行し、農場の説明をしました。農場に到着してまず最初に蒸留棟を見学していただき、精油が抽出されているところを見ていただきました。蒸留器を蒸し器に例えて説明し、蒸留したばかりの精油のにおいを嗅いでいただきました。次に圃場を案内しながらレモングラスの畑に向かい、皆さんに定植を体験していただきました。定植を行った時間が丁度お昼の一番暑い時間であったため、皆さん大量の汗をかかれていましたが、それでも元気よく作業され、当初予定していたよりたくさんのレモングラスを植えていただきました。2 つのツアーのお客様は、共通して皆さんカンボジアの風景を見て感動し楽しんでおられました。まだカンボジアに来られたことのない方は是非一度は見にいらしてください。



畑を耕運機で耕すチャンダーさん



講習会でのレモングラス定植の様子



空心菜播種の様子

◇地元農家さんとの契約栽培

今年から SAJ Farm では地元の農家さんにレモングラスの契約栽培を始めてもらいます。まず最初に農場のリーダーであるチャンダーさんに見本となってもらべく、今月チャンダーさんの畑でレモングラスの定植を行いました。定植をする前にまずチャンダーさんに SAJ Farm で作った堆肥を畑に撒いてもらい、畑を耕し準備をしてもらいました。そしていつも農場で開催する地元農家さん向けの講習会をチャンダーさんの畑で行い、農場スタッフと地元の農家さん 4 人に協力してもらい、約 10a の畑に約 2,500 株のレモングラスを植えてもらいました。作業は一人一つずつ苗を入れた樽を近くに置いて、定植用の紐に沿って等間隔に横並びに並びます。紐に 50cm づつ印をつけてあるのでその場所に苗を植えていきます。今回はいつもより人が多いため定植がスムーズに進み、思っていた以上に早く作業が終わりました。作業が終わった後は皆で食事会を開きました。今回畑の準備に使った肥料代はできたレモングラスオイルの売上から差し引くことにしています。そして次回の講習会で、チャンダーさんの家の近くに住むトウンさんの畑でレモングラスの定植を行うことが決定しました。これからチャンダーさんの家周辺から徐々に契約栽培を進めていき、レモングラスで農村での生活が豊かになるように、就労支援を続けていきたいと思ひます。

◇野菜作付け開始

先月播種を行ったオクラの苗が大きくなってきたため、畑に定植しました。まず定植の前に堆肥を畑に施肥し、トラクターで耕します。オクラは葉が大きく広がるため隣の苗との距離を 1m 空けました。今回は週 2 回 1kg ずつの出荷を目指して 512 株を定植しました。ほかにも中華料理で人気のある空心菜を播種しました。空心菜は船に乗って収穫する地域もあるほど水気を好む作物です。そのため水が比較的溜まりやすい圃場で作付けを行うことにしました。種は朝顔に似ていて、殻が硬く芽が出にくいので、30cm 間隔で 1 箇所につき 4 粒以上播種しました。来月はミニトマトの定植を行う予定です。8 月頃にはたくさんの野菜を収穫できるようにしたいと思ひます。